



校訓：進取 敬愛 剛健

児童像 【考える子 思いやる子 たくましい子】

英田っ子

学校だより 12月号

令和元年11月28日

校長 西田 素子

寒さも冬本番という季節になりました。先日の英田っ子フォーラムをはじめ学校公開では、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございます。これまでの学習の成果を発表する子どもたちの姿、様々な活動に取り組む子どもたちの姿、いかがだったでしょうか。

昨年度から、全校で集まる行事の機会をとらえ、感想を交流する場を設けるようにしています。広い体育館で大勢の人前で自分の考えを話すのは、大人でもなかなか勇気のいることです。しかし、回を重ねるごとに、元気よく挙手し堂々と発表する子が増えており、その成長ぶりを嬉しく思っています。先日の英田っ子フォーラム・和太鼓教室・ふれあいチャレンジ・演劇鑑賞教室におけるふり返りの場面でも、そんな子どもたちの姿を見ていただけたかと思えます。

さて、12月は2学期のまとめの時期となります。学習面だけでなく生活面も含めて、内容と習慣が身に付いているかをふり返り、十分でない点を改善できるように目標を立てて取り組ませたいものです。ご家庭でも話題にさせていただきたく思います。



【12月の目標】

学習：「じっくり本の世界を楽しもう」

→朝読書の充実に取り組みます。8時10分には本を読み始めること、「分類9（物語）」の本を読むことの2点を指導します。ご家庭でも週末読書やファミリー読書にご協力ください。

生活①：「ふわふわ言葉を増やそう」

→チクチク言葉を封印し、心が温かくなるふわふわ言葉を学級の財産として増やしていきます。思いやりのある言葉遣いができているか、ご家庭でも気を付けていただけたらありがたいです。

生活②：「ハンカチ、ティッシュを忘れず、手洗いをして風邪を予防しよう」

→毎週月曜日の朝、衛生検査をしていますが、いつでも使えるように清潔なハンカチとティッシュがポケットに入っているように、今一度ご家庭でも声かけと準備をお願いします。

～ どんな知恵を身に付け、どう使うか？ ～



11月7日、イソップ物語を題材にした演劇鑑賞教室がありました。「うさぎとかめ」「ありとキリギリス」など、子どもたちはすっかりお話の世界に浸り、一緒になって応援したり、表現豊かな演技に大笑いしたりして楽しみました。イソップ物語は、紀元前6世紀のギリシャの作家によるものと言われていますが、長い年月を語り継がれ、多くの人に知られているのは、動物を登場人物にした短いストーリーの中に、「教訓」がユーモアたっぷりに描かれているからかと思えます。

今日の全校集会で、このイソップ物語の中から、知恵を使って失敗する話と成功する話の2つを紹介しました。前者は「塩を運ぶロバ」、後者は「カラスと水がめ」です。どんな内容だったか、是非お子さんからお聞きください。解釈は人それぞれですから、違った教訓の読み方があるかもしれませんが、ずるい考えで行動したり嫌なことから逃げてもうまくいかないこと、反対に工夫を凝らしたり粘り強く努力を続けたりすれば目標に近づけることを、子どもたちに伝えました。

毎日の学習や体験から、子どもたちは多くの知恵を身に付け成長しています。その知恵を賢く幸せに生きるため、人の役に立つために使える人になってほしいと願っています。

12月10日は、ノートの日です。6種類のめあての中から、何を選んで取り組んだのか、そして、実際にそれを意識してできたかをご覧ください、サインをお願いします。

16日には、全校一斉に学年の近い教室に出向き、ノートを見合い参考にする場を設けます。学びの足跡が残るノートづくりとなるよう、引き続き励ましの言葉をお願いします。